



連休中のおうちの防犯対策は 大丈夫？

○お出かけ前に防犯チェック

初夏の風がさわやかな季節になりました。気候のいいこの時期は、行楽や旅行、野外イベントなど、何かと家を空けることが多くなります。

ゴールデンウィークなどの長期連休中は留守宅が増え、それに伴って空き巣や泥棒などの被害も増加します。

お出かけ前に今いちど、住居や周りの防犯対策を見直しましょう。今回は、留守宅の防犯についてお伝えします。



○死角を減らして「人の目」を意識

空き巣や泥棒などの犯罪は、「しにくい・されにくい環境」を作ることによって防止できます。次のような対策をとって、住居の安全を高めましょう。

1. 侵入しにくくする

ドア・窓・鍵などを防犯性の高いものに交換する、補助錠を付ける、ガラスに割れにくくする防犯フィルムを貼る

2. 悪意のある人物が近寄りにくくする

塀や柵を設置する、防犯砂利を敷く、家の側に足場になる物を置かない（脚立・エアコンの室外機・ガーデニングボックスなど）

3. 人目があることを意識させる

家の見通しを良くする（高すぎる植木・塀・柵などは設置しない）、防犯カメラや人感センサー付きライトを設置する

このほか、テレビや照明を付けたままにしたり、タイマーで付けたりして、在宅しているように見せるのもおすすめ。面倒に感じるかもしれませんが、新聞や郵便物の配達も止めておくと、なお良しです。

○一番の対策は「戸締り」？

警察庁の発表によると、空き巣の侵入手段の第一位はなんと、「無施錠」だそうです。どんなに対策しても、戸締りを忘れては元も子もありません。風呂場やトイレの窓など、「こんなところから侵入は無理だろう」と思われる場所でも、絶対に施錠は必要です。住人や通行人にしっかりあいさつし「人の目を意識させる」ことも大事。「設備」と「人の目」の両面で、犯罪の起きにくい環境を作りましょう。

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

(有) 野中建築工業所

NONAKEN 1級建築士事務所